

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報

2019年5月1日 188号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護



日陽園公館（水一荘）を訪問したGPA隊員たち。3月11日



GPA in Leda
アメリカレアと「こんにちは！」3月12日



養殖池にて、パクーの追い込みと収獲を体験。3月13日



タロイモ掘り。この日の昼食にタロイモ料理。3月13日

三月十日から十五日にかけ、GPA (General Peace Academy: 本部=米国ニューヨーク市)の青年とその指導者の一行がレダ基地を訪れ、充実した体験学習をして行きました。GPA隊が初めてレダ基地で研修を行ったのは、二〇一七年二月。今回は三度目になります。

研修生たちは、まず先住民コミュニティのマリアエレナ村で、前もって当会現地法人が造つておいた、学校周囲の柵の下部にレンガを積む作業や、食堂の壁画描きなどの奉仕活動を行いました。子どもたちとの交流も、各メンバーにとって忘れたくない経験になりました。

現地では諸般の準備に奔走した佐野道准氏は言います。「マリアエレナ村は、先住民の村の中でも特に貧しい村です。そんなところにアメリカという最高度に発達した文明社会から来て、青年たちも相当に衝撃を受けたようでした。壊れかけたようなヤシの丸木で建てたあばら家にみんな住んでいるのです。青年たちにとって深く考えさせられる、大きな体験になったことは間違いありません。」

そしてレダ基地に上陸してからは、施設見学、タロイモ掘りとその洗浄、パクーの追い込みと内臓処理、ヤシ林の開墾体験、釣り、乗馬、豚ランド見学、プエルト・カナン訪問、等々。

これだけなら青年奉仕隊とほぼ同じような体験学習プログラムですが、今回のGPAは、移動に貸切の観光船を使ったことが画期的です。ゆったりと流れるパラグアイ川を航行しながら、南米において先駆け歩んだ諸先輩から講義を受け、貴重な体験談を聞きました。そして宿泊や食事の手配はもとより、天候に左右されがちな交通手段の確保に関する心配等を一切することなく、すべての計画を遂行できたと言います。

「今回二週間青年たちと共に過ごし、彼らがとても素直で心情的なことが深く印象に残りました。日本の奉仕隊員は余り表現しませんが、彼らは感謝をすぐ言葉に出します。」(次面に続く)

レダは青年研修の最適地！

諏訪泰弘君と米田義明君がレダから帰国

去る三月十三日、レダ基地で中期ボランティアとして奉仕活動をして来た諏訪泰弘君と米田義明君が、元氣よく日本に帰って来ました。二人はさつそく当会の事務局に来て帰国報告をしました。その感想文を、順次掲載します。今回は諏訪君の感想文です。

なお、この両名のような、レダ基地での活動の体験者には、パンタナール・ワンデイセミナーにおいても体験談を語ってもらうことを予定しています。

レダでの感想 二〇一九年三月十四日 諏訪泰弘



レダの大食堂にて、諏訪泰弘君。

★全体的な感想…

行って良かったです。先輩の方々の内的姿勢、自然界での生活、釣りや養豚など、日本ではできない体験をし、感じる事が多くありました。

★特に心に残ったこと…毎朝早

くから夕方まで、昼は30℃超の屋外で、青年たち以上に働く先生方は、とても60〜70代には見えません。自分たちが辛く、休みたい時も多々ありましたが、先生方の姿を見て自分の想いを越え、がんばることができた日が何度もあり、とても尊敬しています。

★意外だったこと、いやだったこと…朝礼の担当を

青年もやったことです。朝礼の担当者は、訓読する箇所を前の日に三回読んでおき、全員の前で感想を言うのですが、簡単なことではありませんでした。感想のレベルも日に日に上がり、寝る時間も三回読むとかなり短くなります。最初はかなりきつかったのですが、それは先生方も同じですし、朝礼をするのにも強い責任感が伴い、とても良い経験になりました。でも慣れないといやになるかなと感じました。

★レダで担当したこと…養豚と動物の餌やりです。

九月二十日から三月十一日まで、私のメインの仕事として担当しました。二月〜三月にかけ、上山先生が不在だった期間は、伊達先生と一緒に、従業員一人一人に給料を手渡しで支払うことの手伝いと、毎朝従業員食堂と大食堂の二か所に食材を届ける大和田先生の仕事も手伝いました。私が餌やりをした動物は、犬、猫、アメリカレア、七面鳥豚などです。



豚の世話に毎日心を込めて、喜びを感じながら。

★評価と教訓…

養豚については中田所長から、

青年の中では今までで一番よくやってくれたと褒めていただきました。主な作業は、豚への給餌と屠殺

などでしたが、

自分が最も心を

尽くして行った

のは、レティロ

と豚ランドとコ

ラールの掃除で

す。中田所長は、

三日に一度掃除

しろとよく言わ

れます。それは

文先生夫妻や貴

賓が訪問された

時に、レダを素

敵な場所、きれ



訪問者たちにも大人気の豚ランド。

じてもらうための心づくしであり、理想はディズニールランドと同じように、赤ちゃんがハイハイできる基準を目指しています。中田所長が来訪者を連れて、豚の施設を自ら案内した時に、今までで一番きれいで、しかも「学校に集まる」習慣など、豚の生活管理も徹底して行っていたので、良い評価をもらいました。また教訓としては、きれいにすることで自分の心も掃除することになるので、そこに喜びを感じることができました。日本に行っても継続します。

★これからの決意と抱負…レダでの朝礼と訓読の時



レダ基地で活動する青年たちと共に。左から2人目が諏訪君。

継続し、今まで以上に頑張ります。日本での研修や運転免許取得などを進めながら、また二年後にレダへ一年間行きたいです。できれば家庭出発のための一年間の訓練として、結ばれた人で行きたいです。

★意見と提案…

青年は、男女を問わず、一人だけで行くことはお奨めできません。またレダの先生方は青年が来ると喜ばれますが、協調性のない人は話が別です。レダで中・長期に活動する人は、まず最初に四十日間の釣りをすることと、資料室のビデオを視聴することも、青年たちにお伝えください。レダ開拓二十周年の行事や放流式などでも、青年たちが歌やダンスを事前に練習しておけば、レダの先生方はもちろん、ゲストの方々がとても喜びますので、皆様、お願いいたします。

「最近の極端な気象」

地球温暖化との戦闘状況

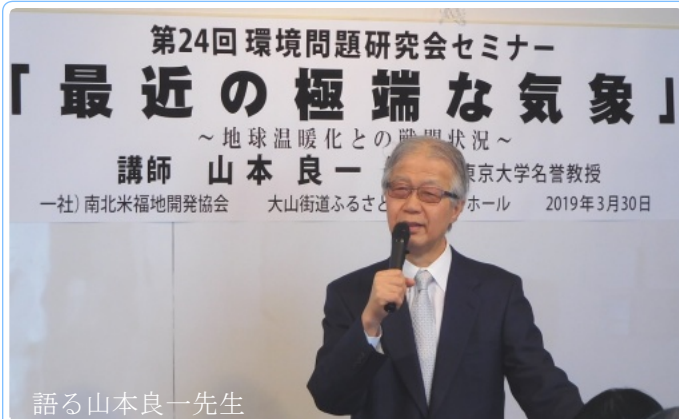


三月三十日（土）午後一時半より、川崎市の大山街道ふるさと館イベントホールにおいて第24回環境問題研究会セミナーを開催しました。講師は、東京大学名誉教授で工学博士の山本良一先生。テーマは「最近の極端な気象」で、45名が参加しました。

山本先生には、温暖化地獄三部作なる代表的著書があります。①「温暖化地獄―脱出のシナリオ―」「予測」を超える『現実』（2007年）②「温暖化地獄Ver.2―温暖化は気候の激変を起こすティッピングポイント（臨界点）をすでに超えてしまったかも知れない！（2008年）」③「残された時間―できる！CO₂25%削減（2009年）」（いずれもダイヤモンド社刊）講義は、穏やかな口調の中に、どんなに不都合な真実であっても、率直に問題の本質を提示し、待ったなしの現実を希釈することなく、誠実に語ろうとする山本先生の気概に満ちたものでした。

まず初めに「持続可能な開発」の再定義を紹介しました。従来の定義では「将来の世代の欲求を満たしつつ、現在の世代の欲求も満足させるような開発…世代間の公平性と世代内での公平性とが要件」だったのを、「現在および将来の世代の人類の繁栄が依存している地球の生命維持システムを保護しつつ、現在の世代の欲求を満足させるような開発」とします。

次に、パワーポイントによる講義項目の一部を紹介します。「化石燃料をすべて燃やし尽くした場合、大気中のCO₂濃度の完全な回復は40万年後以降になる。次の氷期はこの残留CO₂のため訪れない！」（昨年）七月こんな



語る山本良一先生

「(昨年)七月こんな

に凄かった、猛暑・豪雨、記録づくめ」では、豪雨による死者数、熱中症搬送者数、台風12号の逆走ほか、世界各地の巨大災害の例を多数挙げ、「これが地獄でなくて何だというのでしょうか？」とも語られました。「世界で同時に観測された異常気象」「危険な熱帯低気圧が世界で九個同時発生（昨年9月14日）」（中略）「このままでは『温室地球（Greenhouse Earth）』になる」「1.5℃の温暖化で氷床『回復不能』の恐れ―パリ協定のシナリオに警鐘論文（昨年11月13日APニュース）―など、最新の衝撃的報道は枚挙にいとまがないほど。また「ESD（警告主義だと非難されることを用心しすぎて、発言が超保守的な態度になる問題）」についても触れました。以上のような警鐘的内容に続き、「壊滅的な気候崩壊は近いが、まだ道はある。直ちに行動を起こせ」と訴えます。「循環経済は気候緩和の強力な力」（気温上昇1.5℃以下に抑制するために必要な巨額投資）「温室効果ガスの除去（研究機関および除去を扱う企業）」「EU、温暖化ガス新目標―2050年までに『実質ゼロ案』（日経昨年11月29日夕刊）」「世界のダイベストメント（化石燃料からの投資撤去）運動の拡がり（世界各地の宗教者、自治体、学者、大学、若者、子どもなどによる）」と、多くの具体例を紹介。



山本良一先生と共に。3月30日

講義の終了後、参加者から活発な質問が続き、その一つ一つに、山本先生が真正面から回答し、解説を付け加えてくださいました。最後に参加者全員で山本先生と共に記念写真（上）を撮影し、和やかに閉会しました。今回のセミナーの詳細については、環境問題研究委員会によるレポートをお待ちください。（小田記）

一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話: 044-829-2821

FAX: 044-829-2820

ゆうちょ銀行（旧一般会員会費納入）

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

E-メール: office@asd-nsa.com

ホームページ: https://asd-nsa.com

Facebook: https://www.facebook.com/ledaproject.jp/

会員種別

◆会員一口1000円/月

◆特別会員一口1万円/月

◆法人会員一口1万円/月

※いずれも口数は申込者が申告

会費は、毎月の引き落とし方式です。

会費振替用口座 ゆうちょ銀行

00290-5-113072

加入者名: シャ) 南北米福地開発協会

入会申し込みと同時に手続きをお願い申し上げます。それが確認でき次第、会員番号を確定し、ご案内いたします。

♥入会申込書は、左記の事務局にお申しつけください。ホームページからも入手できます。

お便り募集



ツマムラサキマダラ

読者の皆様からのお便りを募集します。本紙記事への感想や提案、皆様個人やご家庭での歩み、あるいはグループや支部での活動と関連写真、イラストなどをお待ちしています。宛て先は、事務局: office@asd-nsa.com へお願いします。